

市立
小諸高原美術館・
白鳥映雪館

匠の技と現代彫刻の融合

政所新二 木彫展 — 美は細部に宿る —



6月6日(日) ~ 7月16日(金)

小諸市東雲在住の彫刻家、政所新二氏は、「政所工務店」に在籍しながら、独学で創作活動を続けています。

宮大工の立川流二代目、立川和四郎富昌(たてかわわしろうとみまさ)の作品に感銘を受け、その結果、創作作品は、伝統的な造形表現の上に、幾何学な形態と緻密さが加わって、現代的な造形美を生み出しています。

本展覧会では、構造材木組みや創作作品を含む約20点のほか、作品の写真等も合わせて展示します。匠の技をどうぞご堪能ください。



「たま」

◆会場 小諸高原美術館 第1・2展示室

◆時間 9:00 ~ 17:00

◆観覧料 一般 500 円 (400 円)

中学生 250 円 (200 円)

※() 内は、30 名以上の団体料金

◆休館日(会期中)

6/7(月)、14(月)、21(月)、28(月)、7/5(月)、12(月)

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館

☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記

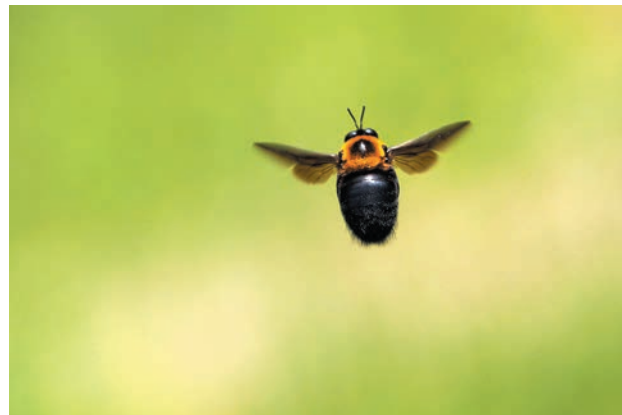


庭でホバリングするクマバチ

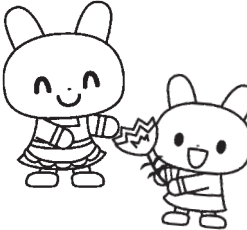
ゴールデンウィークのころから中旬にかけて、真っ黒な大きなハチがみはらしのよい場所で、ブンブンと羽音を立てて空中に浮遊するように空中停止飛行(ホバリング)をしている。別のクマバチが来るとすごいスピードで追いかけていき、また元の場所に戻ってくる。これはメスが現れるのを待ってテリトリーを張っているオスだ。だから別のオスが来ると追い払う。

こんな姿を見ていると恐そうに見えるけれど、実はおとなしいハチだ。だいたいホバリングしているハチはオスなので針をもっていない。ハチの針は産卵管が変化したものでメスにしかないのだ。子どもの頃にいじめっ子がくると、ぼくはこのハチをつかまえて見せつける。そうすれば次からいじめられることはなかった。

メスは勿論針をもっているけれど、掴まない限り刺すことはない。危険なハチは集団でくらすハチで、何かの弾みで人を刺すのはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチだけだ。これらのハチは危険が迫ると匂いを出して仲間知らせるので、ミツバチでも髪の毛に絡みついたりすると他のハチもやってきて刺されることもある。



クマバチ



参加無料

ひよこの日

5/13(木)

入園前の親子の皆さま対象

いっしょに遊ぼう! 楽しいな、こもろようちえん

【受付】9:45~10:20 【活動時間】11:40まで
ご予約いりません。詳しくは電話でお問い合わせ下さい。

認定こども園 **こもろようちえん**

☎0267-22-0355 小諸市三和 1-5-16
<http://www.komoroyouchien.ed.jp>

動画製作 お任せください!

4K・8K対応 空撮ドローン対応

●プロモーションPR ●商品サービス紹介 ●WEB動画
●会社・学校等施設紹介 ●ブランディング ●テレビCM
●デジタルサイネージ ●マニュアルHow to ●インバウンド向け

お見積・ご相談 無料 (サンプル動画はこちらからご覧ください→)

A/C 株式会社 アイク

地域情報&広告 小諸市御幸町2-12-1
TEL.0267-23-4474